

『教育現場のキラリ』

上川教育局

☆ 北海道旭川農業高等学校のキラリ ☆

道北農業高校の拠点校『旭農』
農業を学ぶ約480名の子どもたちが、主体的・対話
的で深い学びを実践し、毎日『キラリ』と輝いている。
この輝きは校内に止まらず、地域でも輝いている。



☆ 生徒のキラリ



(初任段階教員研修)
講師は森林科学科3年生

＝初任段階教員研修で生徒が先生に！＝
旭川農業高校では、地域の課題解決を目指したプロジェクト学習
を行っている。その一つとして、森林科学科の生徒が、手作りの木
琴を携え幼稚園を訪問し、森林の魅力を伝える木育を実施したり、
農業科学科の生徒が、学校で育てた花を使って、地域でフラワーア
レンジメント講習を実施したりしている。活動の実施にあたっては、
生徒自らが主体的に考え、地域や学校、関係機関との連携を深めな
がら対話的で深い学びを実践している。特に、地域の企業や学校と
の連携においては本年度だけでも66団体となっている。

この学びの成果を、今年度は、初任段階教員研修に参加した先生
方を対象に、生徒が講師となり、日頃行っている木育やフラワーア
レンジメント講習を実施し、習得した「知識・技能」を存分に発揮した。これにより、先生役となった生徒はもとよ
り、参加した先生方をも『キラリ』とさせた。

☆ 先生のキラリ



(平成29年度岡山大会)
農業クラブ指導者
※左2人目、右1人目

＝農業クラブ活動への充実した指導体制＝
本校には、北海道の農業クラブ活動を牽引する『キラリ』と輝く
優秀な先生が数多くいる。中でもプロジェクト活動指導は非常に充
実している。その成果は顕著であり、農業クラブ全国大会へは8年
連続出場。(北海道からの出場枠は僅か3)今年度岡山県で行われ
た本大会では、見事、優秀賞を受賞、活動を行ってきた生徒たちを
『キラリ』とさせた。

学びの本質を捉えたプロジェクト活動指導。生徒は主体的・対話的
で深い学びを実践し、常に『キラリ』と輝いている。

☆ 地域とのキラリ



(永山屯田祭)
有志での参加
※第1回から継続参加

＝地域の伝統・文化の継承＝
偉大な先人をしのび業績に感謝するとともに、貴重な文化遺産の
保存、伝承に努める必要性から、1987年(昭和62年)第1回旭川屯
田祭り(第2回からは永山屯田祭り)を実施した。この祭り会場と
して、旭川農業高校旧グラウンドが使用され、旭農生扮する屯田兵を
含む約900名がパレードした。平成6年からは「あんどん行列」にも
参加するなど、地域文化の継承にも一役買った。

7月に行われた永山屯田祭りでは、旭農生のみならず地域の方々
の『キラリ』が祭りを輝かせていた。